

平成28年度 飛騨市の予算

会計区分	予算額	増減率
一般会計	165億5,000万円	△6.1%
特別会計	84億5,600万円	△4.3%
企業会計	27億4,088万円	9.1%
総 額	277億4,688万円	△4.2%

市議会3月定例会において、平成28年度当初予算が可決されました。

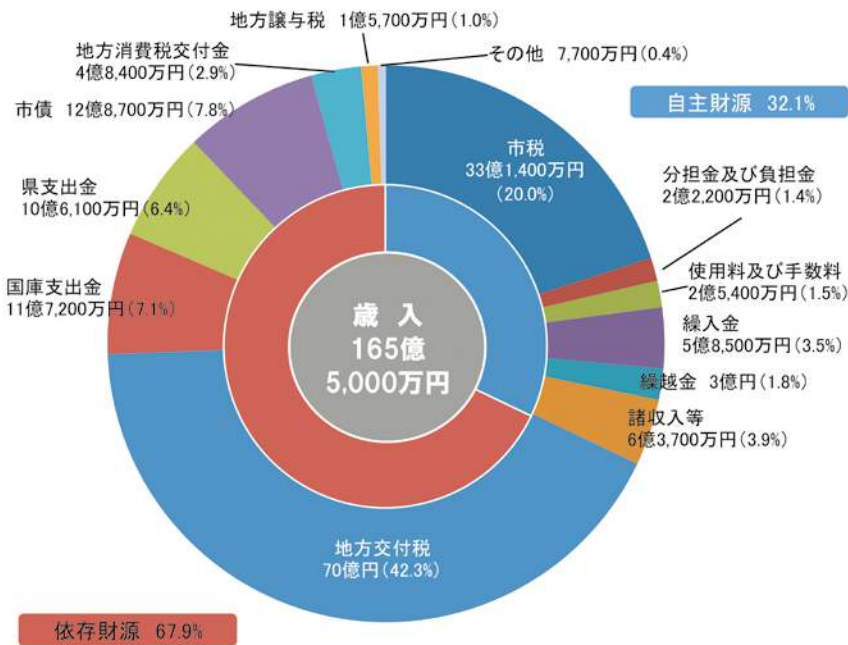
一般会計、特別会計及び企業会計の総額は277億4,688万円（前年度比△12億2,424万円、△4.2%）となり、前年度に振興事務所整備などの大型ハード事業を実施した反動から予算規模が大きく減少しています。

また、今回の当初予算は新市長の就任直後に議会に提出する必要があり、人件費など固定的な経費や前年度からの継続事業を中心に編成する「骨格予算」としてしています。

今後、市民の皆さんとの対話を重ねながら、新たな市政運営の実現に向けた政策的経費（肉付け予算）を編成し、6月議会に改めて提出する予定です。

※表・グラフはそれぞれ万円・百万円単位で表示しているため、計数が一致しないことがあります

●一般会計歳入



●特別会計・企業会計予算

会計区分・会計名	予算額
特別会計	84億5,600万円
国民健康保険	31億9,440万円
後期高齢者医療	3億7,650万円
介護保険	31億1,400万円
公共下水道事業	9億1,400万円
特定環境保全公共下水道事業	1億8,500万円
農村下水道事業	3億1,800万円
個別排水処理施設事業	1,750万円
下水道汚泥処理事業	1億5,900万円
駐車場事業	600万円
情報施設	1億3,500万円
給食費	3,660万円
企業会計	27億4,088万円
水道事業	7億7,405万円
国民健康保険病院事業	19億6,684万円

■骨格予算の編成
平成28年度一般会計予算は「骨格予算」として編成しました。本来、当初予算は当該年度の全ての歳入・歳出をもつて編成するものですが、2月に行われた市長選挙の関係上、新市長就任から予算の議会提出までに政策判断を行う時間的余裕がないことから、必要最小限の構成としています。
なお、骨格予算に盛り込んだ主な内容は次のとおりです。
①義務的経費である人件費、扶助費、公債費
②政策経費のうち国や県の補助を受けるものなど継続的な事業
③年度当初から開始しないと予算執行に支障をきたす事業

■予算の規模
一般会計は、骨格予算編成としたことに加え、前年度に防災無線のデジタル化や振興事務所整備などの大型ハード事業を実施した反動から、前年度比10億7千万円減の165億5千万円となりました。
特別会計は、下水道整備事業の減少や簡易水道事業の廃止（企業会計へ移行）により、3億8千2百万円減の84億5千6百万円。
企業会計は、簡易水道事業を下水道と統合するとともに、水源地の整備などを盛り込み、2億2千万円余り増の27億4千88万円。
全会計の予算総額は277億4千688万円となり、過去3番目に小さな予算規模となりました。

■肉付け予算に向けて
 新たな市政運営を実現するための政策的経費や新規事業に要する経費（肉付け予算）は6月議会に改めて提出する予定です。

肉付け予算編成では、市内各地域・団体等との意見交換会を開催し、市民の皆さんの声を幅広く取り入れたいと考えています。

「融和と対話」「交流と連携」「挑戦と前進」の3つの基本姿勢に立ち、「元気であんなに誇りの持てるふるさと飛騨市」の実現を図ります。

■一般会計歳入の状況
 市税は地価の下落に伴う固定資産税の減少傾向が続くものの、景気回復の兆しが見られつつあり、前年度から微増を見込んでいます。

また、地方交付税は合併特別加算の減少が懸念されますが、国の地方財政計画や算定方法の見直し方針等を勘案し前年度と同額を計上しました。

国庫・県支出金や負担金等の特定財源を除いた財源不足額は、臨時財政対策債の発行および財政調整基金の取り崩しにより補われます。

■一般会計歳出の状況
 骨格予算編成に伴い、基本的に新規事業は計上していませんが、従来から取り組んできた重要事業はしっかりと継続できるように予算を配分しました。

▽議会費
 議場等の音響設備の老朽化に伴い、音響・映像システムを全面的に更新します。

▽総務費
 がんばれふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の好調を受け、寄附金同額を基金に積み立てるとともに、返礼品購入に要する費用を計上しました。

また、地域の皆さんから信頼される職員の育成を目指し研修事業の充実を図るほか、旧神岡鉄道構造物の安全対策として、神岡町市街地における橋梁・トンネルの補修工事を行います。

▽民生費
 高齢者福祉分野では、老朽化が進む養護老人ホーム和光園の再整備に向けた設計費等のほか、民間による小規模多機能型居宅介護事業所（介護サービス事業所）の整備にかかる補助金を計上しました。

児童福祉分野では、増島保育園の調理室改修工事を計上し、

完全自園給食の実現を図ります。

▽衛生費
 みずほクリーンセンター（し尿処理施設）の長寿命化計画を策定し、衛生施設の予防的保全に努めます。

▽農林水産業費
 新規就農者及び担い手農家に対する設備導入等の支援に加え、県農畜産公社を主体とした畜産担い手育成総合整備事業費（草地・畜舎整備等）、里山林整備事業費などを計上しました。

▽商工費
 今秋に予定される「山・鉾・屋台行事」のユネスコ世界文化遺産登録を控え、新たな古川祭の映像制作に向けた予備撮影経費を盛り込んだほか、外国人旅行者にかかるとのインバウンド対策の強化を図ります。

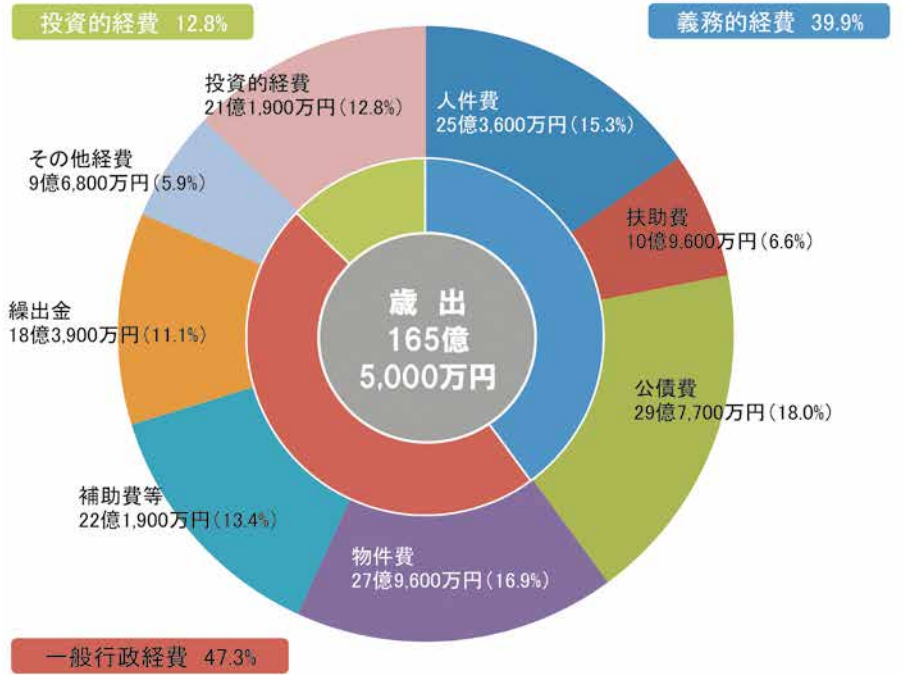
▽土木費
 国・県の補助事業を活用し、市道の改良や橋梁の長寿命化、公共施設の整備を図ります。

▽消防費
 高規格救急自動車の更新や消防器具庫の移転整備などを行い、消防力の維持・強化に努めます。

▽教育費
 学校教育分野では、小中学校の体育館における非構造部材の耐震補強事業に取り組みます。社会教育分野では、6月に予定する神岡図書館の移転オープンに合わせて、蔵書の拡充を図ります。

次のページからは、所属・会計別に平成28年度の主要事業を紹介いたします。

●一般会計歳入（性質別）



●一般会計歳出（目的別）

